

事業番号	07 04 01	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	戦略的な外国人旅行者の誘致推進事業費			担当課	部局	観光部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-5 次世代産業創出プロジェクト 2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト		課・室	国際観光推進室		
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 2 国内外からの誘客・交流の促進		E-mail	go-nagano@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H14 ~		

1 事業の概要

目指す姿	人口減少等で国内旅行市場が伸び悩む中、中国をはじめとする東アジアや成長著しい東南アジア、冬季観光客をターゲットに、国内旅行者に比べて消費額が高いとされる訪日外国人旅行者の誘致を図る。 外国人宿泊者数 24万9千人(H24) → 50万人(H29)	
現状(予算編成時)	国が外国人旅行者誘致の取組みを本格的に開始し、官民挙げて取り組む動きの中で、県も本事業を開始した。以後、長野県への外国人宿泊者数は順調に増加し、H22には30万4972人と過去最高を記録した。しかし、東日本大震災等の影響により、H23は20万3152人と大幅に減少し、24年は24万9246人と回復したものの、以前の水準には戻っていない。	
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施： 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 外国人旅行者誘致のためには、国や他県等と連携して広域的な観光ルートを提案していく必要があるため。（「長野県観光振興基本計画」）

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)				
	○外国人宿泊者数 37.1万人				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		H27
		(当初)	(決算)	(当初)	
1. 海外からの誘客プロモーション	直接、委託	・対象国、地域別の観光PR戦略立案 ・観光説明会、商談会の開催(国内、海外) ・海外メディア、旅行会社等の招聘 ・海外観光物産展等における観光PRの実施 ・多言語による観光パンフレットの作成 ・イスラム教徒向けのパンフレットの作成	43,449	47,064	17,527
2. 各種団体との連携による海外誘客	負担金	・日本政府観光局等との連携・協力による誘客PR	8,250	8,517	10,450
3. 誘客促進トップセールス及び海外からの招聘	直接	・海外からの誘客促進のためのトップセールス	1,184	1,267	
合計			52,883	56,848	27,977

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				11,089
	当初予算	33,344	36,556	52,883	27,977
	補正予算		1,000	11,089	
	合計(A)	33,344	37,556	63,972	39,066
	一般財源	33,344	37,556	32,109	27,965
	県債				
	国庫支出金			11,089	11,089
	その他	0	0	20,774	12
	決算額(B)	33,032	37,556	56,848	
概算人員費	職員数(人)	4.00	2.50	3.00	3.00
概算人員費(C)	33,032	20,645	24,774	24,774	
概算事業費(B(A)+C)	66,064	58,201	81,622	63,840	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
外国人宿泊者数	36.1万人	37.1万人	46.5万人	達成	41.4万人

目標に対する成果の状況	「外国人宿泊者数」の目標を達成できた。
-------------	---------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○県、市町村、民間事業者等がそれぞれの役割を担いながら、連携・協力して海外からの誘客を進めていく。 ○東アジアや成長著しい東南アジア等を主なターゲットに、国や他都道府県、広域観光協議会等とも連携しながら、各種メディアや旅行会社の招へい、観光説明会・商談会の開催など各市場の特性を考慮しながら実施していく。
--------------------	--